

二酸化炭素消火設備の取扱いについて

1 二酸化炭素の人体に対する危険性

- ① 二酸化炭素は、無色、無臭であり、放出されても気付くことが容易ではありません。
- ② 高濃度の二酸化炭素を人が吸うと、即時に酸素欠乏症に至り、死に至る危険性があります。

2 二酸化炭素消火設備作動時の対応

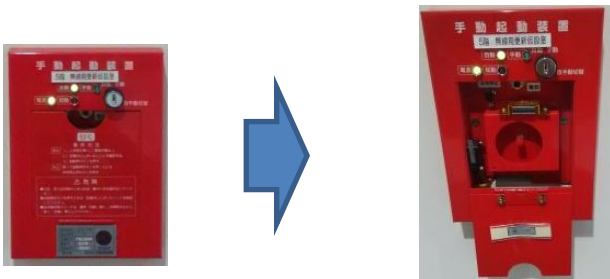
- ① 直ちに防護区画外に避難してください。
- ② 直ちに119番通報を行ってください。
- ③ 設備の設置又は点検等に係る専門業者に連絡してください。
- ④ 二酸化炭素が放出された場所や隣接する部分への立入りを禁止してください。
- ⑤ 二酸化炭素が放出された場所や隣接する部分にやむを得ず立ち入る場合は、消防機関や専門業者の指示に従うとともに、二酸化炭素を十分に排出した後としてください。

3 二酸化炭素消火設備の手動起動

※ 注意事項: 誤って起動させたときは、すぐに「非常停止ボタン」を押し、停止させてください。

正常時の手動起動フロー

- ① 手動起動装置を開く。(開くと音声がかかります。)



- ② 部屋の中にいる利用者に避難を促し、逃げ遅れ者がいないことを確認する。

- ③ 起動ボタンを押す。



- ④ 20秒以上の遅延措置

※ すぐにガスが放出されるわけではなく、最低20秒以上(区画の形成が完了するまでの間)注意報が流れ、放出が遅延されます。

- ⑤ シャッター閉鎖
換気ファン停止

- ⑥ ガス放出
(表示灯が点滅・点灯)



問合せ先 大津市消防局 予防課

Tel: 077-525-9902

E-mail: otsu2353@city.otsu.lg.jp